

水稻、小麦、大豆、キャベツ／規模拡大、効率化、栽培技術の確立・向上
排水性向上による作付作物の拡大と先端技術の導入による効率化の実現
～川合農事組合法人（岐阜県大野町）～

経営体の概要

設立年度：平成17年
基幹作物：水稻、小麦、大豆、たまねぎ
経営面積：20ha

現在：令和6年
基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）
小麦、大豆、キャベツ
経営面積：55ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

● 基幹的農業水利施設である頭首工の機能が低下。

● 幹線水路等は施設の老朽化により用水の安定的な供給に支障。



継ぎ目から地下水が流入している状況

【現在】

● 国営かんがい排水事業「西濃用水第二期地区」（H21～H26）により基幹的農業水利施設の改修が行われ、安定的に農業用水を供給。

● 続いて「西濃用水第三期地区」（R6～R15）により第二期地区での未改修施設の老朽化対策と耐震化対策を行い、用水の安定供給と農業水利施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定を目指している。

営農改善、経営転換等のポイント

①作物の安定生産及び規模拡大

国営土地改良事業等により農業用水が安定的に供給され、排水性も高まったことで水稻に加え小麦、大豆も安定生産が可能となり、規模拡大を図る契機となった。



大豆収穫の様子

②機械の導入による作業の効率化・省力化

乾燥調製作業において乾燥機の稼働率や夜間の作業負担が課題であったが、クラウド対応乾燥機の導入により、スマートフォンから乾燥機の作業状況や燃料消費量等を確認できるようになり、収穫・乾燥作業の効率化・省力化を実現している。



クラウド対応乾燥機

③栽培技術の確立・向上

冬期の収益確保のためキャベツ栽培に取り組み、直接販売のほか、加工・業務用として出荷。また、水稻栽培では、限られた人数でも大規模なほ場の管理を可能にするため、基肥一発肥料※の田植同時施肥等により、作業の省力化を図っている。



川合農事組合法人の皆様

※ 肥料の全量を基肥として一回で施用できるようにした省力的肥料。

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：岐阜県大垣市外6町
受益面積：4,928ha
事業期間：令和6年度～令和15年度
事業目的：農業水利施設の改修及び耐震化
主要工事：頭首工改修2か所、用水路改修 L=15.3km
水管理施設改修一式

位置図



<問合せ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和6年度調査時点）